

## 報告 1 尾上浄水場配水ポンプ制御故障について

去る7月31日の夕刻に発生いたしました尾上浄水場配水ポンプ故障により、町営水道利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。

今回の故障につきましては、尾上浄水場にある配水ポンプ6台のうち1台、6号配水ポンプの回転を制御する部分が故障したことによる制御故障でございます。

**ご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます**

### 断水等の主な原因と理由

通常は、配水ポンプが故障を起こしても警報が上がり、他の配水ポンプによりバックアップ運転ができる体制となっておりますが、今回の故障は、6号配水ポンプの故障と同時に付随する圧力検知器にも故障が発生してしまったことにより、中央監視システムへの警報があがらずバックアップ運転がされませんでした。

緊急対応として、手動操作によるバックアップの運転操作を行いました。夕刻の水需要が高まる時間帯であったため、急激に配水されてしまったことにより、各配水ポンプの圧力検知器が異常（吐出圧低下）を検知してしまい、ポンプ保護のため緊急停止となりバックアップ運転が継続できず、浄水場の自然水圧（尾上浄水場地盤高 + 配水池水位）でしか配水ができない状態となり、町内の一部地域に断水又は減水を招いてしまいました。

### 復旧作業経過と今後の対策

同日に故障箇所を特定し、仮復旧作業を行い、翌8月1日に故障箇所である制御部品を交換し本復旧いたしました。

この他、尾上浄水場の各施設は、平成5年の稼働から14年が経過しており、電子機器部品の耐用年数は約10年と言われておりますので、更新の時期を迎えております。

しかしながら、施設全般の更新には多額の費用を要するため、日常点検を行いながら施設の長寿命化を図り、年次計画を立てて、優先すべき箇所から順次更新整備に努めてまいります。

今後は、

**緊急時の運転操作マニュアルの見直しを図る**

**今回の故障を踏まえた施設の点検に努める**

## 報告 2 3 町村の行政視察を行った結果報告について

今後の町政運営を進める上での参考とするため、経営形態の異なる3町村の行政視察を行い、現地での意見交換、また同行の職員と検討を行った結果について報告いたします。

### 行政視察についての報告 鳥取県岩美町、福島県西郷村、福島県矢祭町

**鳥取県岩美町** いわみちょう 視察日時：7月3日、4日

全国町村下水道推進大会出席のため、鳥取県に出張した際、2日目の7月4日に相川芝山町長、菅澤多古町長と共に行政視察を行いました。

榎本町長さんは、「町の全ての施策が行き着くところは、少子化と定住化であるという考えの基」、安心して生み育てることができる町であれば、人を呼ぶことになり、この町に定住してもらえることが、人口増加につながるため、子育てに関する支援を重点的に推進しているとのことであります。

子育て支援策では、一切新しい事業に取り組むのではなく、今まで各課が単独で行っていた事業を子育て支援センターが中心となって、取りまとめるとともに、住民生活課、福祉健康課、教育委員会、保育所、小中学校や社会教育団体との具体的な連携により、知恵と工夫で子育てしやすい環境づくりに職員一丸となって取り組んでおりました。

また、「頑張る地方応援プログラム」に「少子化対策プロジェクト」を応募するなど、地方交付税を減らさない努力をしておりました。

#### 町の概要

日本海側に面し、兵庫県との県境に位置するとともに、鳥取市に隣接する、人口が13,710人で、面積が122.38平方キロメートルの町であり、海岸線と山あい調和した風向明媚な町です。

#### 財政状況等

平成17年度決算

- 財政力指数：0.33
- 一般会計歳入総額は54億7,113万円  
自主財源が15億5,534万2千円  
歳入に占める割合が28.5%  
地方交付税：23億8,590万1千円  
歳入に占める割合が43.6%
- 歳出状況  
人件費は12億5,322万4千円  
歳出に占める割合が23.3%  
内職員給与が7億8,880万9千円で14.7%
- 職員数：一般職員134人
- 町立国保病院を経営  
町からの繰り出し金が1億8千万円で歳出割合は3%であり、経営状態は極めて良いということでした。

一番興味を持ったのは、何故村でありながら不交付団体であるかと言うことでした。

当日は、副村長の説明を受けましたが、西郷村がこれだけ発展した理由としては、昭和40年代に本格的な車社会を迎え、昭和48年、西郷村内に東北自動車道白河インターチェンジが設置され、更に昭和57年には、東北新幹線の新白河駅が西郷村に設置され、これらの高速交通網の整備により企業進出が相継ぎ、福島県内でも有数の発展を遂げたとのことであります。

#### 町の概要

福島県のほぼ中央部分に位置し、栃木県境にあり、人口が19,459人で、面積が192.32平方キロメートルの町であり、本町と同様に明治22年村制施行以来、合併せず現在に至っております。

#### 財政状況等

平成17年度決算

- 財政力指数：0.83
- 一般会計歳入総額は65億9,958万円  
自主財源が46億9,010万4千円  
歳入に占める割合が71.2%  
地方交付税：H17年度から不交付団体
- 歳出状況  
人件費は14億6,664万1千円  
歳出に占める割合が22.8%  
内職員給与が9億7,815万8千円で15.2%
- 職員数：一般職員146人

#### 企業進出が相継ぎ福島県内でも有数の発展を遂げた西郷村

- ・ 村内企業：従業員数4人以上の企業が60社進出、様々な業種が村内に入っている。
- ・ 製造品出荷額：1,623億7千万円（県内10位 H17.12 現在）

ここ数年景気の回復により、大手企業である信越半導体株式会社やエレクトロテクノ株式会社等の増設が続いているため、法人村民税と固定資産税の償却資産分が大幅な伸びを示しているとのことであります。

平成17年度の村税の総額は、42億927万6千円ですが、平成18年度は、50億3,191万3千円と大幅に伸びている内容としては、法人村民税でありました。

最後に、こういう村の状況であることから、矢祭町のように削減した予算を子育て支援に充当するような考えはないのかとの質問に対し、現在は、景気回復により企業からの法人村民税や固定資産税等が増収になっているが、これは一時的なものと考えており、目先の様々な問題に捉われず、これからの高齢化社会のため財政調整基金に積み立てていくとのことであります。



当日は、4団体と仏教大学の学生さらに、法政大学の学生とともに自立・総務課長の説明を受けました。

また、財源がなければ自立できないということから、財政縮減の見通しに合わせて、「入るを量りて出るを制す」が財政の基本と考え、自立の理念を明確にして地道に歳出削減を行なっておりまして、町の中心施策である子育てを支援しながら、町民と行政の協力で自立のまちづくりを目指しているとのことでありました。

(子育て支援策に年間6千万円支出)

#### 町の概要

福島県と茨城県の県境に位置し、人口が6,965人で、面積が118.22平方キロメートルの町です。

#### 財政状況等

平成17年度決算

- 財政力指数：0.28
- 一般会計歳入総額は32億1,351万6千円  
自主財源が8億9,003万4千円  
歳入に占める割合が27.8%  
地方交付税：14億4,027万1千円  
歳入に占める割合が44.8%
- 歳出状況  
人件費は7億1,795万3千円  
歳出に占める割合が23.1%  
内職員給与が4億6,903万1千円で15.1%
- 職員数：一般職員67人

#### 「市町村合併をしない矢祭町宣言」

##### “企業誘致などの裏づけがあった”

矢祭町は、平成13年に「市町村合併をしない矢祭町宣言」を行い全国的に有名になった町

最近では「もったいない図書館」をオープンし、全国から寄贈された図書は、40万冊にもなった。この図書の整理にあたっては、現在も町民のボランティアによる整理が行われています。

また、上下水道のインフラ整備やほ場整備等も終了している。

さらに、町道の整備率は、県内1位であり、各地区の利用者が維持補修にあたっているとのことでありました。

#### 自立のための企業誘致施策

注目するものとして、企業誘致と併せ第二工業団地と現在造成が終了し未進出の第三工業団地の間に住宅団地を造成するなどの工夫を凝らすことにより、人口増加を考えているようでありました。

現在、第一工業団地には2社、第二工業団地には4社その内1社は、東証一部上場で世界シェア20%の空気圧機械メーカー「SMC」が進出し、現在従業員900人が働いており、昨年度の固定資産税等の税額が2億5千万円とのことであり、町税の35%に当たるとのことでありました。

また、第三工業団地には、同社の研究所と新工場が2011年に進出予定であり、現在の工場と合わせて3,000人規模の雇用が期待されており、新工場の進出で2倍の5億円以上の税収が期待でき、自主財源は倍増する予測とのことでありました。

徹底した行財政改革を図りながら、固定資産税の増収分については、財政調整基金に積み立てることにより、将来のまちづくりに充当する計画としていました。

なお、今回視察した町村は、各種の振興法（山村振興法・特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律・過疎地域自立促進特別措置法など）や低開発地域工業開発促進法により、国の手厚い保護があるという現実を実感いたしました。

## 今回の視察先と酒々井町との対比（町の概要、財政状況等）

### 酒々井町

#### 町の概要

人口：21,587人  
面積：19.02平方キロメートル

#### 財政状況等

平成17年度決算

- 財政力指数：0.75  
一般会計歳入総額は52億8,268万5千円  
自主財源が31億5,014万7千円  
歳入に占める割合が59.7%  
地方交付税：7億8,800万円  
歳入に占める割合が14.9%
- 歳出状況  
人件費は16億9,602万6千円  
歳出に占める割合が32.8%  
内職員給与が11億2,727万2千円で21.8%
- 職員数：一般職員190人

なお、今回行政視察を行った結果、**キーワードは、人件費と自主財源**であると考えております。

行政視察を行った結果について、以上のとおり報告します。

### 参考

#### 町産業の現状

酒々井町の産業の現状は次表のとおりであり、自主自立を進めていく酒々井町にとって、産業振興は喫緊の課題といえます。

千葉県内76市町村

	項目	金額	県内シェア	順位
工業 (H17.12.31)	製造品出荷額	1,289,020 万円	0.106%	47
商業 (H14.6.1)	年間商品販売額	2,601,900 万円	0.212%	40
農業 (H17.2.1)	農業産出額	101,000 万円	0.239%	75

企業誘致などによる法人税、固定資産税などの確保が必要

### 報告3 酒々井ちびっこ天国運営について

酒々井ちびっこ天国につきましては、本年度を初年度として、指定管理者制度による施設の管理運営が実施されたところでございますが、プール事業についての事業実績につきまして、ご報告いたします。

#### プール事業の運営期間と入園者数の報告

**入園者数:77,110人 開園日:40日間**

7月21日から9月2日までの44日間でございますが、うち天候不順による休園が4日、途中休園が1日ありまして、開園日は40日間ございました。

また、期間中は天候にも恵まれ、入園者数につきましては、昨年度を14,165人上回る77,110人ございました。

#### 売上状況の報告

入場料金が45,940,110円、売店等の売上が36,705,674円で、合計82,645,784円でしたが、現在精算中のものもありますことから、改めてご報告させていただきます。

指定管理者/セントラルスポーツグループ

- ・指定管理者に対する町からの運営委託料は0(ゼロ)です
- ・H20からは健康づくり事業をスタートします

#### 指定管理者による独自事業

##### \*水泳教室\*

参加人数は37名

7月から8月にかけて水泳教室を3回実施  
延べ12日間実施  
(教室1回=4日間)

##### \*岩崎恭子さん

##### トークショー\*

トークショーやワンポイントレッスン等のイベントを実施

開園最終日に開催  
オリンピック金メダリスト  
(バルセロナ平泳ぎ200m)

##### \*健康ナチュラルヨガ教室\*

参加人数は45名

8月19日開催  
2回実施

来園者に対して「健康づくり」アンケート調査を実施

今後は、健康づくり事業について、アンケート結果を参考とした、具体的なプログラムを指定管理者から提案していただき、来年度に向けて、事業展開できるよう施設改修等の協議検討も含めて進めて参りたいと考えております。

## 報告4 (仮称)酒々井町新産業団地計画及び(仮称)酒々井インターチェンジに関する事業調整委員会の設置について

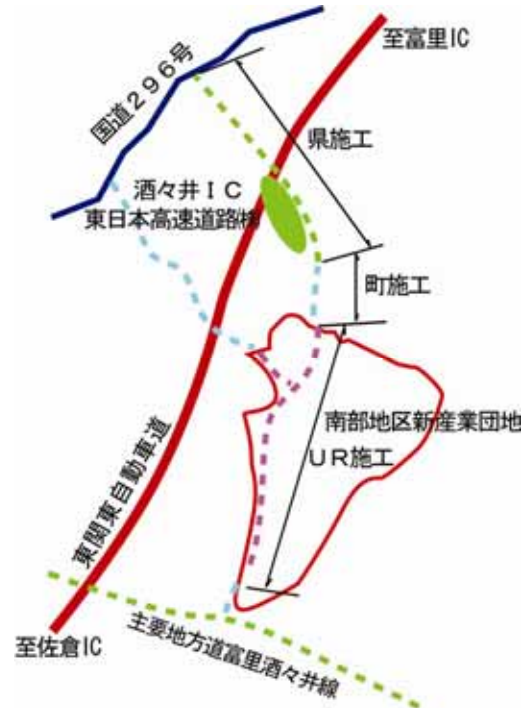
去る8月21日に当町、千葉県、独立行政法人都市再生機構及び東日本高速道路株式会社の4者を構成機関といたしまして、(仮称)酒々井町新産業団地計画及び(仮称)酒々井インターチェンジの円滑な事業推進を図ることを目的に事業調整委員会を設置いたしましたので、概要をご報告いたします。

### 事業調整委員会を設置いたしました

構成:町、千葉県、都市再生機構、東日本高速道路株式会社

#### 設置の経緯

委員会設置につきましては、以前より町、県、都市再生機構の3者で設置に向けた協議をしていたものであり、県土整備部よりインターチェンジの施工者である東日本高速道路株式会社の参画を依頼してはどうかとの意見があり、これに賛同した結果、4者での事業調整委員会を設置することになりました。



#### 委員会での事務内容

(仮称)酒々井町新産業団地計画及び(仮称)酒々井インターチェンジの事業推進に係る各事業間の調整、進捗状況の把握及び情報の共有を行います。

また、下部組織として、各構成機関の幹部による「幹事会」を設けました。

今後、この委員会及び幹事会を活用して、事業の円滑化を図って参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 報告5 酒々井町の子育て支援について

この4月に役場西庁舎1階に設置いたしました。  
しすい「**あいあいルーム**」は親同士が気軽に集い、さまざまな年齢の子どもたちが楽しく交流しあえることから多くの皆様に利用されておりますので、利用者の意見等合わせてご報告いたします。

### 利用者数は、計235名(5ヶ月間)

4月：24名      7月：76名  
5月：26名      8月：76名  
6月：33名

- 全体では、延べ235名の皆様に利用して頂きました。

### あいあいデー

#### 利用者数は、計51名

7月13日：13名  
7月27日：12名  
8月10日：21名  
8月24日：5名

- 全体では、述べ51名の親子の方々に利用して頂きました。

**「あいあいルーム」7月17日から、全面畳敷き、更に利用しやすくなりました！**

### 利用者から寄せられた声

畳が入って、とても利用しやすくなった。  
広い部屋で、子どもが楽しく遊んでおり、親としては助かります。  
玩具とビデオが充実している。



✚畳敷きにしたことによって、利用者が急激に増加しておりますことから、今後は、子育てを終えたシニア世代等との交流や、より多くの親子に利用していただくため広報等を活用し、PRに努めてまいります。



### 利用者から寄せられた声

自分の家のようにリラックスできてとても良い。  
少しの時間でも、子どもから解放されるので助かる。  
アットホームの感じが良い。

**「あいあいデー」を7月から実施！**  
月2回、看護師、助産師による育児相談、そして親子が手遊び等を通して、いきいきと子育てができるようにあいあいデーを設けました。

今後は、季節に合わせた行事などを取り入れた、さらなる「あいあいデー」の充実に努め、子育て中の親同士、地域の皆様とのコミュニケーションが図れる場として提供していきたいと考えております。

このように、開設後5ヵ月ではありますが、利用者の皆様から大変好評を得ておりますので、引き続き、利用者の声を聞きながら、積極的に子育て支援に努めてまいります。



## 報告 6 酒々井町放課後子どもプラン推進事業の実施について

子どもを取り巻く環境の変化によって、家庭や地域の子育て機能・教育力の向上が求められている今日、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所の確保を図るため、文部科学省と厚生労働省の連携の下「放課後子どもプラン」が実施されることになりましたが、当町においても子育て支援策の一環として国の実施要綱に基づいた「酒々井町放課後子どもプラン推進事業」を実施することといたしました。

### 放課後子どもプラン推進事業

#### 放課後子ども教室推進事業

文部科学省の所管であり、小学生全員を対象に勉強やスポーツ・文化活動等を無料で実施するものです。

今年度につきましては10月を目途に小学校2校の体育館等を利用し、週1回程度の試行を予定



#### 放課後児童健全育成事業

厚生労働省の所管であり、「放課後児童クラブ」、いわゆる「学童保育」です。

今年度につきましては、大室台小学校の利用可能な特別教室を活用し平成20年1月を目途に酒々井町放課後児童クラブを開設予定



運営方法については、施設は町で、運営は民間で行う、いわゆる「公設民営」により、地域住民の方々や父母の皆様などと町の協働により実施していきたいと考えております。

9月の補正予算で教室改修経費等

8,874千円を計上いたしました。

議員各位に対し、理解と協力をいただきたく、よろしくお願いいたします。